

グローバル・カフェ「フランス・トゥール市の学生との交流会」を開催しました

2025年10月30日(木)、14時40分よりフランス・トゥール市の学生2名と本学学生・教職員による交流会を実施しました。さぬきプログラムの留学生を含む香川大学生26名、教職員14名の計40名が参加しました。

はじめに、高松市と姉妹都市のフランス・トゥール市から来られたYoung AmbassadorsのGabrielle BECKERS-AVENT(ガブリエル)さんとMargot SCORZA-DEL-BEN(マルゴー)さんが、トゥール市の紹介ビデオを見せてくださいました。



教会のステンドグラス、大聖堂、路面電車、公園の観覧車、ロワール川とそこにかかる長い橋、川面でボートを漕いでいる人。旧市街のマーケット、パラソルの下で市場や食事する人々、美しい建物の数並ぶ路地。ありとあらゆる種類のチーズや、シーフードや野菜が並ぶマーケット、噴水の美しい市庁舎に、一同魅了されました。



続いて、4人の香川大学生が香川県の魅力について発表しました。菊川さんは香川の基本情報と、栗林公園や小豆島などの観光地、瀬戸内国際芸術祭を紹介しました。農学研究科で食物化学を専攻し、今年度アンバサダーとしてトゥール市を訪問した田中さんは、うどんについて掘り下げる発表をしました。



三木町出身の山下さんは、香川の特産物「さぬきひめ」のいちご摘み体験や、トレスタ白山のスケートリンクを紹介。2年前にトゥールを訪問したアンバサダーの川路さんは、うどんだけじゃない香川のおいしい食べ物を紹介。オリーブや、小豆島で伝統的な方法で製造している醤油、海に近いのでおいしい魚、そうめんなどをぜひ試してみてほしいとおすすめしました。

最後に参加者全員が英語で自己紹介をしました。フランス語を履修している人、フランスに行ったことがある人、フランスに行きたい人もいました。その後お茶とお菓子で賑やかなティータイムが続きました。

